

発行日：2018年10月1日

担当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局  
(一般財団法人日本花普及センター)



## ジャパンフラワーセレクション2018-2019 ガーデニング部門 夏秋審査会 審査結果の発表

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」のガーデニング部門では、このたび、春に花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する夏秋審査会において、27品種の審査を実施しました。

審査は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において栽培試験を実施し、生育過程の観察を行いました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。

なお、これらの中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラワー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。

### 【実施概要】

#### ■審査会日時:

夏秋審査会① 2018年5月29日（火）14:30～18:00

夏秋審査会② 2018年7月17日（火）14:00～18:00

夏秋審査会③ 2018年9月 4日（火）14:00～18:00

■開催場所：千葉大学環境健康フィールド科学センター  
(千葉県柏市)

■審査品種：ガーデニング部門 夏秋審査対象27品種

■入賞品種：27品種



### 【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

福永 哲也 豊明花き(株) 代表取締役社長（ガーデニング部門長）

尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役

杉井 志織 はなぐみ 代表

村上 智弘 (株)フラワーオークションジャパン 鉢物部 次長

山口 まり (一社)日本ハンギングバスケット協会 理事

渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 准教授



### <ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局>

TEL 03-3664-8739

FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

ホームページ: <http://www.jf-selections.net>



＜ジャパンフラワーセレクションとは＞

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、2006年4月からスタートした日本で唯一の統一的花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に出回る花きの新品種のなかから、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定して「ジャパンフラワーセレクション受賞品種」として発表しています。

審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の3部門で行われています。これら受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（JFSマーク）を付けて販売されています。

なお、各審査会で選定されるベスト・フラワー（優秀賞）は、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選考会にノミネートされます。

＜JFS受賞マークについて＞



このマークが、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

ジャパンフラワーセレクション ガーデニング部門のご案内

＜JFS2019 冬春審査会・春審査会・夏秋審査会 出品募集中！＞

ポット苗のご出品はこちらへ！

審査圃場：千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学）にて栽培記録をつけ生育経過を観察し行います。苗物としての販売物はガーデニング部門にご出品ください。

■出品料：1品種30,000円（税別）

\*以下①②の条件に該当する方は、1品種10,000円（税別）です。

（減免対象者が2015年4月1日から一部変わりました）

①（一財）日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A（都道府県、各種団体、企業、協同組合）

もしくは団体会員Aである都道府県内の生産育種農家。

② 全国新品種育成者の会の会員

\*千葉大への苗の搬入可能日は、毎週火曜日午前中となります。

（苗の納入日は変更になる場合があります）

■JFS出品対象品種

① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね5年以内の品種

② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの（海外で育種されたものも含む）

③ 種苗法や遺伝子組み換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律等の法令違反を犯していない品種であること。

■JFS出品申請者資格

以下のいずれかに該当する方が出品可能です。

① 品種の育成者権（同品種を業として扱う権利）を持つ者

② 契約により日本における販売代理権を持つ者（海外で育成された品種も出品可能）



▲審査圃場（露地花壇・屋根付き施設）の様子

お問い合わせはこちらへ

＜ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局＞

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>

# ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



## 1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会での協議審査の結果、切花・鉢物・ガーデニングの各部門で各1品種ずつ選ばれます。

## 2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

## 3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

### 「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

### 「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

### 「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

### 「グッドパフォーマンス特別賞」

これまで以上に比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

### 「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

### 「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

### 「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

### 「ジャパンデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

### 「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しみさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

### 「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

## 4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。



### 日本フラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞受賞品種の授賞式(東京大学弥生講堂)

2018年度のフラワー・オブ・ザ・イヤーおよび特別賞の授賞式は、2018年12月5日(水)東京大学弥生講堂にて行います。

例年、内閣総理大臣夫人もしくは農林水産大臣夫人を特別ゲストにお呼びして、その年の代表的な品種を表彰しています。



(写真は2017年の授賞式の様子: 東京大学農学部弥生講堂) 特別ゲストには受賞者からお花のプレゼントが渡され、記念撮影を行います。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔ニュースタイル特別賞 同時受賞〕



5/29撮影

品目名 : カリブラコア  
 品種名 : ミリオンベル グランオレンジ  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社  
 (東京都)

ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>

育成者 : 山田 将弘

育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社

審査講評 : 個性的なオレンジ色の大輪品種。遠くから見ると濃いオレンジ色だが、近くで見るとひとつの花の中にグラデーションがあり、大輪のカリブラコアに立体感が生まれている。

暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短く、ピンチした後の回復も早かった。花ガラも目立ちにくい。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多く、ベスト・フラワー(優秀賞)を受賞。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。



7/17撮影



5/29撮影



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後56日の屋根付き施設での様子 (6/5撮影)



▲定植後119日の屋根付き施設での様子 (8/6撮影) \*切り戻し後55日



▲定植後133日の屋根付き施設での様子 (8/21撮影)



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)



▲定植後104日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/23撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕



7/17撮影

品目名 : ペチュニア  
 品種名 : スーパーチュニア  
           ビスタ ミニピンクスター  
 受賞者 : 株式会社ハクサン(愛知県)  
 ホームページ : <https://www.hakusan1.co.jp>  
 育成者 : Plant21  
 育成者権者 : J&H Japan  
 審査講評 : スーパーチュニア ビスタミニ

シリーズのピンクと白の複色小輪品種。一見してそれとわかる特徴ある花が、カーペット状に咲く姿は見事。

耐暑性、耐雨性、連続開花性について申し分ない。とりわけ分枝が良く、ピンチを行わなくても花の密度を保った。多少の枝変わりが見られ、高温期に白い部分が若干多くなり花色全体が明るく見えるが、独特の模様はしっかり入っていた。

群植するとカーペット状になり、単株ではコンパクトに自然に丸くまとまる。蒸れる、花弁が傷みが目立つ、大きくなりすぎて困る、匂いが強い等のペチュニアに対して起こりがちな不満がなく、消費者の方が育てやすい品種。ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を受賞。



7/17撮影



7/6撮影



▲定植後3日の屋根付き施設での様子 (5/25撮影)



▲定植後27日の屋根付き施設での様子 (6/18撮影)



▲定植後62日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影)



▲定植後91日の屋根付き施設での様子 (8/21撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)



▲定植後28日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)



▲定植後53日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/21撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕



7/17撮影

品目名 : サルビア  
 品種名 : スーパーサルビア  
 ロックンロール ディープパープル  
 出品者 : 株式会社ハクサン(愛知県)  
 ホームページ : <https://www.hakusan1.co.jp>  
 育成者 : Plant21  
 育成者権者 : J&H Japan

審査講評 : 深みのあるブルーのガクと赤みの紫色の密な花穂。夏花壇の挿し色として使えるインパクトあるサルビア。

自然に分枝し、大きく崩れることもなく、花上がりも良かった。1株でもかなり大きく育てることもできる。また、ランドスケープデザインの中でも活用が期待できる。

暑い夏にそれ程手を入れずに長く楽しめることは家庭用としてだけでなく、公共花壇にも求められる要素であり、それを叶えている。

ベスト・フラワー（優秀賞）と、グッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。



7/17撮影



7/17撮影



▲定植後3日の屋根付き施設での様子 (5/25撮影)



▲定植後17日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後27日の屋根付き施設での様子 (6/18撮影)



▲定植後77日の屋根付き施設での様子 (8/7撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)



▲定植後28日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)



▲定植後59日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)



▲定植後91日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/21撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕



7/17撮影

品目名 : ランタナ  
 品種名 : スーパーランタナ  
 ムーンホワイト  
 出品者 : 株式会社ハクサン(愛知県)  
 ホームページ : <https://www.hakusan1.co.jp>  
 育成者 : Thomas Psenner  
 育成者権者 : J&H Japan

審査講評 : 分枝よく、連続開花性の高いランタナ。白色品種のムーンホワイトは、一房の花が5cm程と大きい。1株でこんもりと自然に丸くまとまり、花壇の群植では高さも揃い、株割れすることもなく花壇をカバーするパフォーマンスを見せた。

ペチュニアでもニチニチソウでも無い白い花は、夏花壇の素材として欲しいもの。花壇だけでなく、寄せ植えやハンギングバスケット用としても用途が広く、いろいろな楽しみ方ができる。  
 ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。



7/17撮影



9/4撮影



▲定植後27日の屋根付き施設での様子 (6/18撮影)



▲定植後45日の屋根付き施設での様子 (7/6撮影)



▲定植後62日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影)



▲定植後91日の屋根付き施設での様子 (8/21撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/25撮影)



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後59日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)



▲定植後90日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/20撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞）〔カラークリエイト特別賞 同時受賞〕



9/4撮影

品目名 : ニチニチソウ  
 品種名 : モネ  
 受賞者 : 北島園芸(奈良県)  
 育成者 : 北島 治  
 審査講評 :

ピンク色に中心部分が濃いボルドーカラーのクラシカルな雰囲気のあるニチニチソウ。子どもの描くシンプルな花の絵のようなノスタルジックな魅力もある。花色、花型ともにオリジナリティが高い。

定植してから花が満開になるまでに比較的ゆっくりと生長し「スロースターター」ともいえるが、その間、葉も美しく、病気も出ずに、一番気温が高く厳しい時期に満開となった。

株は均一な高さに伸びず高低が出るが、揃わないところが自然風なデザインにも使いやすいという意見もあった。花壇でもやや横に伸びながら広がり、枝に高低が出るので整った雰囲気ではなかったが、平坦にならず自然に花壇をカバーする仕上がりとなった。

ベスト・フラワー(優秀賞)、カラークリエイト特別賞を受賞した。



8/24撮影



8/24撮影



▲定植後22日の屋根付き施設での様子 (6/18撮影)



▲定植後57日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影)



▲定植後72日の屋根付き施設での様子 (8/7撮影)



▲定植後89日の屋根付き施設での様子 (8/24撮影)



▲定植後7日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/23撮)



▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/6撮影)



▲定植後70日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/21撮影)

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕



7/20撮影



7/24撮影

品目名 : ランタナ  
 品種名 : ブルーミファイ レッド  
 受賞者 :  
 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)  
 ホームページ : <http://www.simplybeautiful.jp/>  
 育成者 : David Clark  
 育成者権者 : Florida Foundation Seed Producers, Inc

審査講評 : 不稔性のランタナ。種子ができないことから、株の消耗が少ないため開花期間が長い。発色が鮮明で存在感ある花が長く楽しめる。連続開花性も認められた。

分枝が良くボリュームがでるが、株の揃いも良く、また、株が倒れることもなかった。

コンテナ植えにすると形よくマウンド状にまとまり、花壇ではやや高性の材料として良い。従来と異なる新たなランタナとして、消費者におすすめできるポイントが多く、ベスト・フラワー(優秀賞)、グッドパフォーマンス特別賞を受賞した。



▲定植後10日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後38日の屋根付き施設での様子 (7/6撮影)



▲定植後55日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影)



▲定植後70日の屋根付き施設での様子 (8/7撮影)



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後83日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/20撮影)

## グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : ペチュニア  
 品種名 : サフィニアアート  
           ローズイエロー  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社  
           (東京都)

ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>

育成者 : 山田 将弘

育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社

審査講評 : 花弁に模様が入るサフィニアアートシリーズの「ローズイエロー」のリニューアル品種。花色の色褪せもなく、くっきりとした星形が印象的。

耐暑性、連続開花性が高く、分枝力旺盛で、中輪の花がボリュームたっぷりに開花する。葉色も美しく、花とのバランスも良かった。こんもりとまとまる草姿は、1品種で植えても十分に見栄えのする仕上がりとなる。消費者にとっても扱いやすく、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を授与された。

5/29撮影



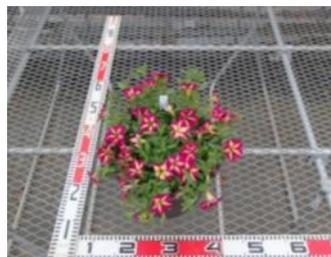
6/8撮影



5/29撮影



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後28日の屋根付き施設での様子 (5/8撮影)



▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後27日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/7撮影)



▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)

# モーストジョイ特別賞



5/29撮影

品目名 : カリブラコア  
 品種名 : ミリオンベル バターポップコーン  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)  
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>  
 育成者 : 山田 将弘  
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社

審査講評 : 白～クリームイエローの花弁に黄色いアイがポップな印象を与える。小輪系の花が次々に開花する様子が「バターポップコーン」という名前にマッチしていて楽しい。

分枝性も高く、ボリュームたっぷりに育つ。広がりすぎず、やや立ち上がり気味の株は、ハンギングバスケットや寄せ植えで使いやすい。

誰にでも育て易い性質に加えて、次々に鈴なりに咲き、植物を育てる楽しさや喜びをもたらしてくれる品種として、モーストジョイ特別賞を受賞した。



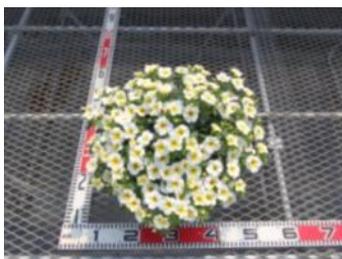
7/17撮影



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後28日の屋根付き施設での様子 (5/8撮影)



▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/22撮影)



▲定植後59日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/8撮影)

ニュースタイル特別賞



5/29撮影

品目名 : カリブラコア  
 品種名 : ミリオンベル グランアクア  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)  
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>  
 育成者 : 山田 将弘  
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社  
 審査講評 : さわやかなペールブルーの大輪品種。

暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短く、花ガラも目立ちにくい。ピンチによってほどよく茂り、ほどよくまとまる草姿で、バランスが良い。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多い。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。



7/17撮影



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後28日の屋根付き施設での様子 (5/8撮影)



▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)



▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)

# ニュースタイル特別賞



品目名 : カリブラコア  
 品種名 : ミリオンベル グランブルー  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)  
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>  
 育成者 : 山田 将弘  
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社  
 審査講評 : 深い青紫色の大輪品種。黄色いアイとのコントラストが印象的。

暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短く、濃い色だが傷も花ガラも目立ちにくい。ピンチによってほどよく茂り、ほどよくまとまる草姿で、バランスが良い。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多い。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)

▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)

▲定植後87日の屋根付き施設での様子 (7/6撮影) \* 切り戻し後24日

▲定植後104日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影) \* 切り戻し後41日



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)

▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)

▲定植後101日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)

# ニュースタイル特別賞



5/29撮影

品目名 : カリブラコア  
 品種名 : ミリオンベル グランピンク  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)  
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>  
 育成者 : 山田 将弘  
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社  
 審査講評 : 青みがかった濃いピンクの大輪品種。一品種使いでも花壇や寄せ植えのポイントに挿し色としても美しいフーシャピンク。輪径はシリーズの中でも一番大きい。

暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短く、濃い色だが傷みも花ガラも目立ちにくい。ピンチによってほどよく茂り、ほどよくまとまる草姿で、バランスが良い。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多い。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。



7/17撮影



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後87日の屋根付き施設での様子 (7/6撮影) \* 切り戻し後24日



▲定植後104日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影) \* 切り戻し後41日



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)



▲定植後101日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)

ニュースタイル特別賞



5/29撮影

品目名 : カリブラコア  
 品種名 : ミリオンベル グランホワイト  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)  
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>  
 育成者 : 山田 将弘  
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社  
 審査講評 : 純白にライトイエローのアイが入る上品な印象のある大輪品種。

暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短い。シリーズの中ではややコンパクトで、花壇より屋根付き施設でのパフォーマンスが良かった。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多い。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。



7/17撮影



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後28日の屋根付き施設での様子 (5/8撮影)



▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)



▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)

ニュースタイル特別賞



5/29撮影

品目名 : カリブラコア  
 品種名 : ミリオンベル グランイエロー  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)  
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>  
 育成者 : 山田 将弘  
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社  
 審査講評 :

明るい黄色の大輪品種。近くで見るとグラデーション感もある。暑さに負けず生育は旺盛で、株揃いも良く、安定したパフォーマンスを見せた。植え付けてから咲きそろうまでの期間も短い。シリーズの中ではやや這性で、花壇を覆うカバー力が素晴らしい。

魅力的な花色、「ミリオンベル」という名の印象にも合った花のボリューム感、花壇にも寄せ植えにも使いやすい点など、消費者におすすめできるポイントが多い。大輪のカリブラコアで新しく優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞した。



5/29撮影



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後28日の屋根付き施設での様子 (5/8撮影)



▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (4/16撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)



▲定植後55日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)

# カラークリエイト特別賞



8/7撮影

品目名 : マンデヴィラ  
 品種名 : サンパラスol アプリコット  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)  
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>  
 育成者 : 見里 朝也  
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社  
 審査講評 : サンパラスolシリーズの新色で、単体で目立つ色ではないが、他の花とも合わせ易い優しいアプリコットカラー。花色と草姿の柔らかさがマッチしている。

つるが旺盛に伸びるタイプではないので、花壇よりコンテナ使いがお勧めで、丈夫で寄せ植えにも使いやすい。花がクラスター状に次々に咲くので、花の重みでやや花が下を向く。下から見上げる吊り鉢などに植栽するとこの花のかわいらしさが引き立つ。

人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種としてカラークリエイト特別賞を受賞した。



7/6撮影



8/20撮影



▲定植後13日の屋根付き施設での様子 (5/7撮影)



▲定植後36日の屋根付き施設での様子 (6/5撮影)



▲定植後67日の屋根付き施設での様子 (7/6撮影) \* 切り戻し後2日



▲定植後99日の屋根付き施設での様子 (8/7撮影)



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/29撮影)



▲定植後84日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/17撮影)



▲定植後133日の露地花壇・群落植栽の様子 (9/4撮影)

## グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : アメリカフヨウ  
 品種名 : タイタンビカス ウラノス  
 受賞者 : 株式会社赤塚植物園(三重県)  
 ホームページ : <http://www.jp-akatsuka.co.jp>  
 育成者 : 倉林雪夫  
 審査講評 :

タイタンビカスの中でも花径が25cm程になる大輪品種。ローズレッドの存在感のある花が夕方までしおれずに楽しめる。草丈は人の背の高さほどまでのいわゆるミディウムトルタイプで大きくなりすぎず、低い位置からの分枝もあり花数も多い。台風等の影響による側枝の折れが多少見られたが、大きく乱れることはなかった。

タイタンビカスの数多いラインナップの中でも草丈と分枝のバランスも良く、花壇だけでなく家庭での鉢栽培もしやすい。消費者にとって扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞した。

8/6撮影



▲定植後2日の露地花壇での様子 (5/25撮影)



▲定植後27日の露地花壇での様子 (6/19撮影)



▲定植後40日の露地花壇での様子 (7/2撮影)



▲定植後58日の露地花壇での様子 (7/20撮影)



▲定植後75日の露地花壇での様子 (8/6撮影)



▲定植後90日の露地花壇での様子 (8/21撮影)

## グッドパフォーマンス特別賞



品目名 : アメリカフヨウ  
 品種名 : タイタンビカス レイア  
 受賞者 : 株式会社赤塚植物園(三重県)  
 ホームページ : <http://www.jp-akatsuka.co.jp>  
 育成者 : 倉林雪夫

審査講評 : タイタンビカスの中でも花径が25cm程になる大輪品種。青みがあった濃いピンクの花が夕方までしおれずに楽しめる。

草丈は1mほどまでのいわゆるショートタイプで、低い位置からの分枝もあり花もつく。

草丈が低くどっしりと安定感あるタイプで、花壇だけでなく家庭での鉢栽培もしやすい。草丈が大きく育つタイタンビカスの定番品との違いを販売時に消費者にわかりやすく伝えるとよい。

消費者にとって扱い易く、育てやすい品種としてグッドパフォーマンス特別賞を受賞した。



▲定植後2日の露地花壇での様子 (5/25撮影)



▲定植後27日の露地花壇での様子 (6/19撮影)



▲定植後40日の露地花壇での様子 (7/2撮影)



▲定植後58日の露地花壇での様子 (7/20撮影)



▲定植後75日の露地花壇での様子 (8/6撮影)



▲定植後90日の露地花壇での様子 (8/21撮影)

# ジャパンデザイン特別賞



品目名 : ペチュニア  
 品種名 : ベニ茜  
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)  
 ホームページ : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>  
 育成者 : 松原園芸

審査講評 : シックなバーガンディ色のグラデーションが個性的な小中輪タイプのペチュニア。花弁が反り返らず、上向きに咲くので、小輪でも色がはっきりと主張する。

立ち性でドーム型に育ち、生育は旺盛で見ごたえがあり、過酷な環境にも耐え、長期にわたり数多くの花がついた。

観察期間中にも少しずつ色の変化があったが、秋花材を足せばそのまま秋花壇や秋のコンテナに作り替えられるようなシックな色合い。少しにじんだようなレトロ調にも見える花色は、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種としてジャパンデザイン特別賞を受賞した。



▲定植後3日の屋根付き施設での様子 (4/20撮影)

▲定植後20日の屋根付き施設での様子 (5/7撮影)

▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)

▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽での様子 (4/20撮影)

▲定植後20日の露地花壇・群落植栽での様子 (5/7撮影)

▲定植後41日の露地花壇・群落植栽での様子 (5/21撮影)

▲定植後55日の露地花壇・群落植栽での様子 (6/4撮影)

# カラークリエイト特別賞



品目名 : ペチュニア  
 品種名 : 妖精のチュチュ グリーンストライプ  
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)  
 ホームページ :  
<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>  
 育成者 : 松原園芸  
 審査講評 : ひらひらと波打った花冠にうっすらとライムグリーンのストライプが入る個性的なタイプのペチュニア。

耐暑性、耐環境性があり、株が丸く整う、ほど良い大きさでまとまる。

白地に淡いグリーンのストライプ、中心部分の濃いアイのコントラストが美しく、遠くで見るとより近くでの観賞のほうが価値が上がる。花ガラは目立ちにくかった。

1品種で植えると爽やかな印象だが、どんな色の花とも合わせやすい花色で、カラークリエイト特別賞を受賞。

6/8撮影



6/8撮影



▲定植後3日の屋根付き施設での様子 (4/20撮影)



▲定植後20日の屋根付き施設での様子 (5/7撮影)



▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽での様子 (4/20撮影)



▲定植後20日の露地花壇・群落植栽での様子 (5/7撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽での様子 (5/21撮影)



▲定植後59日の露地花壇・群落植栽での様子 (6/8撮影)

カラークリエイト特別賞



6/4撮影

品目名 : カリブラコア  
 品種名 : モーブクチュール  
 受賞者 : 松原園芸(群馬県)  
 ホームページ :

<http://matsubaraengei.blog.fc2.com/>

育成者 : 松原園芸

審査講評 : グレイッシュパープルの八重咲きのカリブラコア。花壇より屋根付き施設での栽培のほうが、この微妙な色合いが良く表現された。

株はコンパクトに自然にマウンド状にまとまり、連続開花性もあった。

地味な色あいともいうが、このようなアッシュ系の色味の花は、他の色との馴染みが良く、組み合わせしやすい。コンパクトで寄せ植えやハンギングバスケットなどにも使いやすいので、主役に脇役にといろいろな活用ができる品種と言える。

カラークリエイト特別賞を受賞した。



7/17撮影



▲定植後3日の屋根付き施設での様子 (4/20撮影)



▲定植後20日の屋根付き施設での様子 (5/7撮影)



▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽での様子 (4/20撮影)



▲定植後20日の露地花壇・群落植栽での様子 (5/7撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽での様子 (5/21撮影)



▲定植後55日の露地花壇・群落植栽での様子 (6/4撮影)

ニュースタイル特別賞



6/19撮影

品目名 : ジギタリス  
 品種名 : スーパージギタリス ベリーカナリー  
 受賞者 : 株式会社ハクサン(愛知県)  
 ホームページ : <https://www.hakusan1.co.jp>  
 育成者 : Walters Gardens, Inc.  
 育成者権者 : J&H Japan  
 審査講評 : 分枝性に優れたハイブリッドジギタリス。ピンク×アプリコットの花穂が株元から豪華に上がってくる表現が面白い。

ロゼット状のダークグリーン of 葉も楽しめる。徐々に外側も分枝して、ボリュームが出た。花色、草姿、生育の揃いも良い。

初心者でも育てやすいが、花ガラの手入れや咲き終わった花穂の手入れ方法を案内するとより楽しめる。

新規性が高い草姿で、ニュースタイル特別賞を受賞。



6/18撮影



▲定植後13日の屋根付き施設での様子 (5/7撮影)



▲定植後28日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後45日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後55日の屋根付き施設での様子 (6/18撮影)



▲定植後13日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/7撮影)



▲定植後27日の露地花壇・群落植栽の様子 (5/21撮影)



▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)



▲定植後56日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)

# ブリーディング特別賞



8/6撮影

品目名 : サルビア  
 品種名 : ビッグブルー  
 受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)  
 ホームページ : <http://www.simplybeautiful.jp/>  
 育成者 : Scott Trees  
 育成者権者 : PanAmerican Seed  
 審査講評 : サルビア ファリナケア種の種間交雑種。

その名の通り分枝良く株立ちが大きく、茎も青みがかっているため、花穂全体がブルーに見える。

かなり大きくなるので寄せ植え素材としてというより、低木の脇やバラなどの足元に植え込んだり、植栽の後ろ側に植えて動きを付ける等、サマーランドスケープでの活用がおすすめ。

育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種としてブリーディング特別賞を受賞。



8/7撮影



▲定植後3日の屋根付き施設での様子 (5/19撮影)



▲定植後24日の屋根付き施設での様子 (6/22撮影)



▲定植後41日の屋根付き施設での様子 (7/9撮影)



▲定植後70日の屋根付き施設での様子 (8/7撮影)



▲定植後4日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)



▲定植後21日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)



▲定植後52日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)



▲定植後83日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/20撮影)

モーストジョイ特別賞



7/20撮影

品目名 : ペチュニア  
 品種名 : 花衣 紅水晶  
 受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ  
 (山梨県)

ホームページ : <http://www.simplybeautiful.jp/>

育成者 : 大屋 寛高

育成者権者 : 株式会社 ミヨシ

審査講評 : ピンク系白覆輪の八重のペチュニア。日本で育種、選抜された品種で、高温・多湿にも耐えて連続で開花していた。景観植栽というよりはコンテナなど近いところから見ると良さが伝わりやすい。あえて他の植物と組み合わせずに、1品種植えで花のレアな感じを楽しんだり、写真に撮ったりと手元で愛でるのに向いている。

覆輪の幅や花卉の重ねにややランダムな感じがあるが、それも含めて印象的な品種。園芸初心者の方や、ペチュニアを買わなかった消費者にもアピールできる魅力がある。

楽しい気分をもたらしてくれる品種に授与されるモーストジョイ特別賞を受賞。



7/6撮影



▲定植後10日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)



▲定植後20日の屋根付き施設での様子 (6/18撮影)



▲定植後38日の屋根付き施設での様子 (7/6撮影)



▲定植後55日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影)



▲定植後6日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/4撮影)



▲定植後21日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)



▲定植後35日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後52日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/20撮影)

## ニューバリュー特別賞



8/21撮影



8/21撮影

品目名 : ニチニチソウ  
 品種名 : Power Waltz Cranberry  
 受賞者 : 雪印種苗株式会社(千葉県)  
 ホームページ : <http://www.snowseed.co.jp>

育成者 : 農友種苗  
 育成者権者 : 農友種苗

審査講評 : 従来のニチニチソウとは一線を画す、存在感ある大株となるニチニチソウパワーワルツ。クランベリーは、濃いピンクに白いアイが入り明るい印象。9cmポットで定植してから、約2か月後には露地花壇では60~70cm、屋根付き施設内のコンテナ栽培で70~80cmの草丈となった。販売する時に仕上がりイメージできる見本鉢などがあると伝わりやすい。茎も太く、群植したものは台風で倒れることもなく、強堅であった。耐暑性、連続開花性の点でも素晴らしいパフォーマンスを見せた。

大株になるので、家庭用やコンテナでの活用というより、高性花壇や造園での活用など景観植栽に向く。ニチニチソウの新しい使い方を広げる品種としてニューバリュー特別賞を受賞した。



▲定植後13日の屋根付き施設での様子 (6/18撮影)



▲定植後31日の屋根付き施設での様子 (7/6撮影)



▲定植後48日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影)



▲定植後63日の屋根付き施設での様子 (8/7撮影)



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)



▲定植後28日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後49日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/24撮影)



▲定植後77日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/21撮影)

## ニューバリュー特別賞



8/21撮影



8/21撮影

品目名 : ニチニチソウ  
 品種名 : Power Waltz Dark Red  
 受賞者 : 雪印種苗株式会社(千葉県)  
 ホームページ : <http://www.snowseed.co.jp>  
 育成者 : 農友種苗  
 育成者権者 : 農友種苗  
 審査講評 : 従来のニチニチソウとは一線を画す、存在感ある大株となるニチニチソウ パワーワルツ。ダークレッドは、インパクトあるフーシャレッド。

9cmポットで定植してから、約2か月後には露地花壇では60~70cm、屋根付き施設内のコンテナ栽培で70~80cmの草丈となった。販売する時に仕上がりイメージできる見本鉢などがあると伝わりやすい。茎も太く、群植したものは台風で倒れることもなく、強堅であった。耐暑性、連続開花性の点でも素晴らしいパフォーマンスを見せた。

大株になるので、家庭用やコンテナでの活用というより、高性花壇や造園での活用など景観植栽に向く。ニチニチソウの新しい使い方を広げる品種としてニューバリュー特別賞を受賞した。



▲定植後13日の屋根付き施設での様子 (6/18撮影)



▲定植後31日の屋根付き施設での様子 (7/6撮影)



▲定植後48日の屋根付き施設での様子 (7/23撮影)



▲定植後66日の屋根付き施設での様子 (8/10撮影)



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子 (6/19撮影)



▲定植後28日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/3撮影)



▲定植後49日の露地花壇・群落植栽の様子 (7/24撮影)



▲定植後77日の露地花壇・群落植栽の様子 (8/21撮影)

# 入賞



5/29撮影

品目名 : ペチュニア  
 品種名 : サフィニア シャインレッド  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)  
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>  
 育成者 : 宮崎 潔  
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社  
 審査講評 : 「サフィニア」シリーズの新色、シャインレッドはウェーブな花型の赤の大輪品種。花壇では甸甸し、コンテナに植えると垂れさががるタイプ。花壇でも株元も蒸れなかったが、コンテナ栽培のほうが、より花傷みも少なく鮮やかな赤色が映える。定植から咲き揃いまで40日程できれいに仕上がった。甸甸性のペチュニアの赤系の品種としては改良された点が認められ入賞となった。



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後27日の屋根付き施設での様子 (5/7撮影)



▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後56日の屋根付き施設での様子 (6/5撮影)



5/29撮影

品目名 : ペチュニア  
 品種名 : サフィニア イエロー  
 受賞者 : サントリーフラワーズ株式会社(東京都)  
 ホームページ : <http://suntory.jp/FLOWER>  
 育成者 : 磯部 八寿子  
 育成者権者 : サントリーフラワーズ株式会社  
 審査講評 : 「サフィニア」シリーズのイエロー(リニューアル)はさわやかなクリームイエローの大輪品種。花の密度が高く、40日ほどできれいに咲き揃うが、ペールトーンの花だけに花壇より泥はね等の心配のないコンテナ栽培のほうに向くかもしれない。ペールイエローの花色は、他の花との組み合わせもしやすく、活用の幅が広い。黄色品種としてはボリュームもある。



▲定植後6日の屋根付き施設での様子 (4/16撮影)



▲定植後27日の屋根付き施設での様子 (5/7撮影)



▲定植後42日の屋根付き施設での様子 (5/22撮影)



▲定植後59日の屋根付き施設での様子 (6/8撮影)

## 入賞



品目名 : インパチエンス  
品種名 : バウンス ピンク  
受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)  
ホームページ : <http://www.simplybeautiful.jp/>  
育成者 : Gali Shafer  
育成者権者 : Ball Horticultural Co.  
審査講評 : 直射日光の下でも育てやすいタイプのインパチエンス。バウンスというシリーズ名は、水枯れによるしおれた状態からの回復が早いということに由来するとのこと。日本の猛暑の中、連続で開花していたことから、直射日光には耐えていたといえるが、育種された環境に近い条件ならもっと素晴らしいパフォーマンスを発揮することだろう。1株のボリュームもたっぷり株の形も良く、造園の材料としても活用できる。



▲定植後3日の露地花壇・群落植栽での様子 (5/25撮影)



▲定植後28日の露地花壇・群落植栽での様子 (6/19撮影)



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽での様子 (7/3撮影)



▲定植後59日の露地花壇・群落植栽での様子 (7/20撮影)







ご存知ですか？このマーク。  
「いい花の新基準。」  
ジャパンフラワーセレクション。